

年度 2008 学期 後期	曜日・校時	月2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーションⅢ English Communication III			
対象年次 2年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等)	2Ka	科目分類	外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員:ローン悦子 /Eメールアドレス:etsukolawn@hotmail.com /研究室:非常勤講師控室 /オフィシアワー:授業の前後				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標(500文字) 授業のねらい:コミュニケーションで最も活用するリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。 授業方法:テキストに沿って演習形式で行います。ペアーワークやグループワークを多く取り入れてスピーキング能力を養います。適宜補助教材を用い、リーディング、ライティング、リスニングの強化、英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。授業で学んだことはやりっぱなしにならないように、各自付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。 授業到達目標:授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします(テキスト中の重要な構文は、口からついて出てくる程度各自練習して下さい)。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)(1300文字) 授業内容(概要) テキストは全12課から成っていますが、進度は詰め込み式にならないように、授業の進み具合で調節しながら進めていきます。受講生には回答の機会をできる限り多く設け、ペアーワークやグループワークを通して学んだ表現を着実に自分のものにしてもらいます。環境問題に関する補助教材も適宜使用していきます。 第1回 オリエンテーション Introduction 第2回 Getting to know each other 第3回 Talking about Pastime 第4回 Invitation and Appointment 第5回 Review 第6回 Making Small Talk 第7回 Group work for the presentation 第8回 Intensions 第9回 Presentation 第10回 Permission and Suggestion 第11回 Commenting & Expressing Feeling 第12回 Informing and encouraging 第13回 Comparative cultures 第14回 Review 第15回 全授業の総括(試験を含む)				
キーワード				
教科書・教材・参考書	教科書として Tadashi Shinozawa Gregory A. King 著『New Activator』金星堂を使用する。第1回目の授業までに、生協の販売コーナーで各自購入すること。その他、適宜プリント教材、補助教材を使用する予定。			
成績評価の方法・基準等	期末試験(50%)、小テスト(課題、発表を含む)(40%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。			
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参のこと。 毎回授業に出席することが原則です。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、欠席届を提出して下さい。 指示された活動に積極的に関わること。			
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)	各自付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。			